

## 岡本の国会での答弁

177-参-災害対策特別委員会-9号 平成23年06月08日

○佐藤正久君 これは農水省が知らなかったからなんですよ。横の連携がこれも悪いんですよ。十五日の段階でこんな高いの出ていたら、雑草の周りにも露地野菜あるでしょう、副大臣。実際にその近くで農作業している方もいるんですよ。土ぼこりを吸い込んでいるかもしれない。そうでしょう。厚生労働省にお伺いします。結果、この出荷制限が掛かるまで、いろんな作業あるいは食物によって内部被曝をした可能性、これはないと否定できますか。

○大臣政務官(岡本充功君) ないと断言できるかと言われれば、様々な内部被曝に至る経緯までを全て分かるかという、呼吸で吸った可能性もありますし、どういう理由で内部被曝したかということは今から調べるというのも難しいところがありますが、端的にお話を申し上げて、当時、その三月十七日に暫定規制値を決める、設定するというまでの間においては暫定規制値がなかったわけですから、当然その間に野菜等が放射能で汚染をされていた可能性を完全に否定できるものではないとは考えています。